

私の軸にあるもの

沖縄と世界の未来を豊かにする人財と事業の創出



課題解決型・市場創造型人材の質と量

(起業家精神 × イノベーション × グローカル)



2008年～ Ryukyufrogs

WHAT

沖縄の未来をつくるチェンジメーカーの発掘・育成

WHY

企業は人なり、沖縄も人なり。民間主体で、長期視点で。



アントレプレナーシップ（起業家精神）を身につけた ハイブリッドイノベーター型人財育成プログラム

設立：2007年 *プログラム提供は2008年～

対象：沖縄県内に居住する**中学生以上の学生**

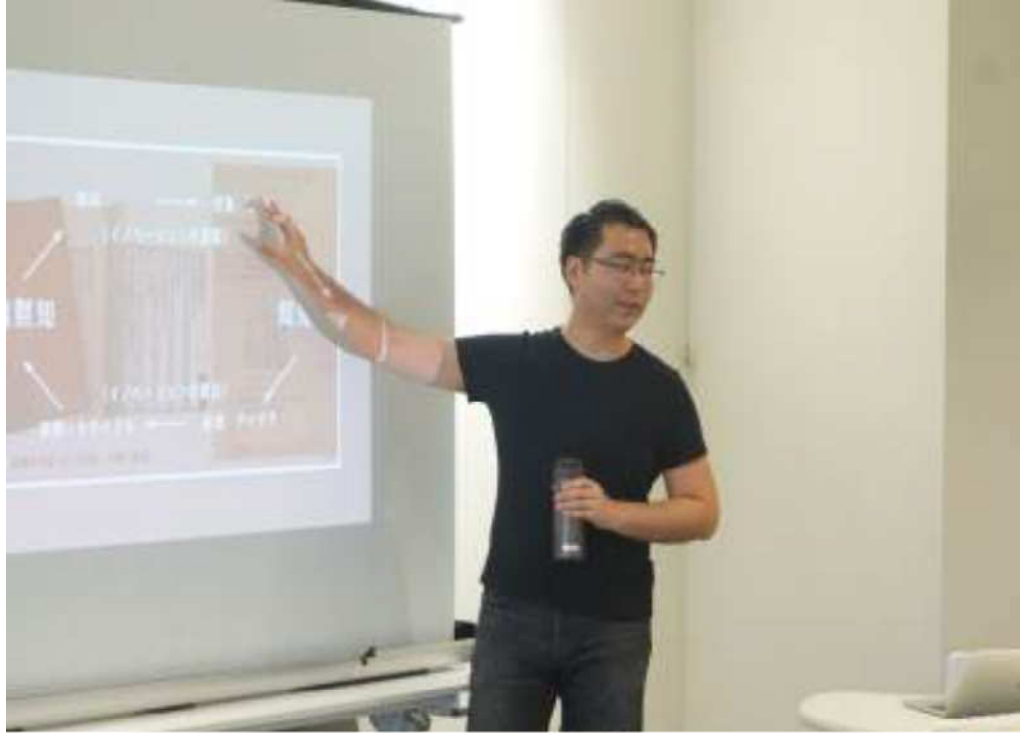
期間：毎年**6月～12月の約半年間**

資金：**民間企業協賛**









社会課題と向き合う





サービスを生み出すために大切なこと





サービス構築研修





英会話研修





プレゼンテーション研修



Google



Twitter



Facebook





WOMEN'S STARTUP LAB
CEO 堀江愛利氏



Takeoff Point (SONY)





スタンフォード大学にて
MODE CEO 上田学氏



Plug and Play Tech Center



約半年間の研修の成果は LEAPDAY でプレゼンテーション



LEAP DAY(リープデイ)は沖縄の学生を対象として人財育成プログラム『Ryukyufrogs』の成果発表の場として2012年から始まり、2017年より那覇市で開催される総合的なカンファレンスイベントとなりました。

“Ryukyufrogs OBOGネットワーク”

21/102



1期
Ryo Tsugawa
フリーランスエンジニア



1期
Yuji Shimojo
Google Japan



2期
Rino Nakamura
glass space株式会社
取締役



2期
Takamasa Chinen
民泊経営



3期
Shunichiro Kaneshiro
株式会社Jidoca Technologies
代表取締役



3期
Yuta Hinokuma
KICONIA WORKS
リードエンジニア



3期
Yuji Chinen
電気通信大学



4期
Daichi Teruya
東京農工大学



5期
Kodai Kinjo
フリーランスエンジニア



5期
Takumi Hayakawa
慶應義塾大学



5期
Seina Otsubo
慶應義塾大学



6期
Hiroko Nakada
カッシーニ株式会社
代表取締役



6期
Mitsuhiro Shimomura
東京大学工学部



7期
Ichi Kuniyoshi
株式会社FROGS



7期
Isshin Toyonaga
長崎大学工学部



8期
Hirari Hatanaka
株式会社FROGS
取締役
Ryukyufrogs
Organizer



8期
Yuka Shimajiri
慶應義塾大学



8期
Yuya Tsuha
慶應義塾大学



8期
Takuto Kinjo
メキシコモンテレイ
工科大学研究生



9期
Ayuha Tamura
ICU国際基督教大学



10期
Yoichi Tsuha
明治大学

“世界で活躍する人たちのネットワーク”

Special Supporters



新垣 道子
グラアティア株式会社
代表取締役CEO



Antti Sonninen
SLUSH ASIA代表



麻生 要一
株式会社アルファドライブ
代表取締役



新井 和宏
株式会社eumo 代表取締役



池村 光次
株式会社KUROKO
代表取締役



石井 莉咲
Plug and Play Tech Center
パートナーシップマネージャー



石川 洋人
Takeoff Point
執行役 社長



伊藤 健吾
Genuine Startups Ltd.
代表取締役



伊藤 羊一
Zホールディングス株式会社 Z
アカデミア学長 / 武蔵野大学
アントレプレナーシップ学部
学部長



井上 浄
株式会社リバネス
代表取締役副社長CTO



上原 仁
株式会社マイネット
代表取締役社長



大木 美代子
Principal, Serend



大西 敬吾
LILZ株式会社
代表取締役社長
Product Manager



大見謝 若奈
ワカナ・オオミジャ
クリエイティブ ビジネス
コンサルティング 代表



奥田浩美
株式会社ツイズグループ
株式会社たからのやま



柏谷 泰行
ENRORS
代表取締役



勝屋 久
プロフェッショナルコネクター
ペインティングアーティスト



熊谷 芳太郎
Senior Adviser
fitbit, inc.



琴 章憲
WIL, LLC. パートナー



小林 雅
ケイ・アンド・カンパニー
代表パートナー



佐藤 道明
株式会社Hanoi Advanced Lab
代表取締役
株式会社うむさんラボ パートナー



澤 円
株式会社團窓
代表取締役



澤山 陽平
500 Startups Japan /
Managing Partner



白石 智哉
フロンセス・パートナーズ
代表取締役
ソーシャル・インベストメント・
パートナーズ 理事



田口 一成
株式会社ポグレス・ジャパン
代表取締役社長



竹川 祐也
株式会社サイバーエージェント
キャピタル
シニア・バイス・プレジデント



竹田 紗希孝
Splink, Inc.
Sr. Manager



常盤木 龍治
パラレルキャリアエンジェリスト
プロダクトデザイナー



内藤 弘朗
Google
Technical Program
Manager



永田 暁彦
株式会社ユーグレナ
取締役副社長



西村 勇哉
NPO法人
代表理事



仁禮 彩香
株式会社Time Leap
代表取締役社長



Brandon K. Hill
CEO & Founder,
btrax, Inc.



Hiro Maeda
BEENEXT Partner



三原 菜央
株式会社スマイルボタン
代表取締役社長



Hiro Minami
principal
M3Business
Consulting Firm



三好 大助
Tradecraft
Growth Marketer



山口 豪志
株式会社54
代表取締役社長



山谷 正己
Just Skill, Inc. 社長



吉田 大
ブラックベルト・リーガル弁護士法人
代表弁護士

合計**40**名の起業家・投資家・エンジニアたちが、サポートします！

協賛起業・団体

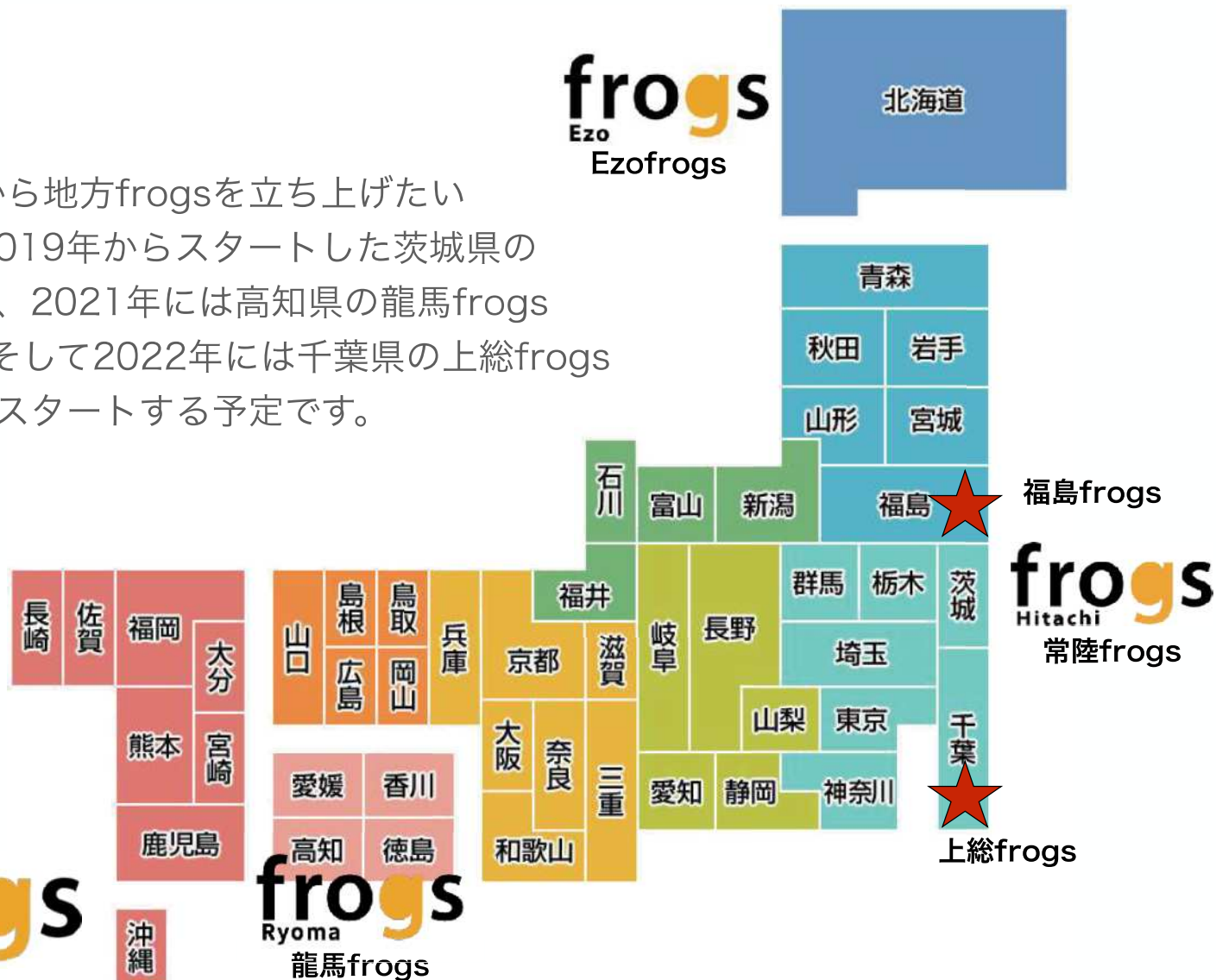


支援・支援団体





ここ数年、他の地域から地方frogsを立ち上げたいという声が高まり、2019年からスタートした茨城県の常陸frogsを皮切りに、2021年には高知県の龍馬frogs 北海道のEzofrogs、そして2022年には千葉県の上総frogs 福島県の福島frogsがスタートする予定です。



豊かさを分かち合える新たな経済や社会の仕組みをデザインする研究所



2018年 株式会社うむさんラボ 始動

沖縄や世界を豊かにする事業の創出や
起業家支援（伴走・経営支援・資金提供など）
そのエコシステムやコミュニティを育む活動を行う





OKINAWA SDGs プロジェクト（OSP）

～沖縄らしい幸せの経済と社会の共創を目指して～

琉球新報





2030年に向けて

私たち OKINAWA SDGs プロジェクト（OSP）は、
SDGs と 沖縄21世紀ビジョン を軸に、
企業の枠、セクターの枠、世代の枠を超え、
人とひととが繋がり、学び合い、
沖縄の **社会課題の解決につながるプロジェクト** を
実際に **生み出す** ための
コミュニティ&プラットフォーム を目指しています。



docomo

PEOPLE'S BANK
沖縄銀行

琉球清掃工業
琉球クリーン工業

沖縄ヤマト運輸

Orion
オリオン

金秀グループ

SHISEIDO

セブン-イレブン

あひだのあしたをあたため
沖縄劇団学会

JT

NOMURA

南クリーン株式会社

御菓子御殿

Yakult
ヤクルト

沖縄ろうさん

住友生命 Vitality

照正組

日本郵便

琉球セメント

Loopでんき

シマムース本舗
青い海

AZANA

COSTA VISTA

ooba

沖縄受験セミナー

沖縄合機株式会社

沖縄セルラー

沖縄宝島

おとせワザード

南クリアテック沖縄

KBC学園グループ
KBC GAKUEN GROUP

KPG
HOTEL & RESORT

コースおきなわ

ZAGUMI

ササエージェンシー

Blue Pacific Enterprise Co., Ltd.

G.M.
G.M.グループ

JAグループ沖縄

守礼ホーム

Daiwa House

nishi
西島建設

農林中央金庫

浜学園 ほまキッス

藍急交通社

BRILLIANT

BLUE SEAL

bluefield

PROMOTION SPURMA

琉球新報

RICOH

琉球新報開発

Lexues

UnitedSun Isls

琉球新報



OSP 2020-2021

- 6月 キックオフイベント
- 7月 カンファレンス vol.1 「ロジックモデル」 「教育」
- 9月 カンファレンス vol.2 「環境（赤土流出問題）」
- 10月 カンファレンス vol.3 「子どもの貧困」
- 11月 スピンオフプログラム：沖縄Beyondミーティング
- 12月 スピンオフプログラム：LEAPDAYとの連携
スピンオフプログラム：しめ縄づくり
- 2月 スピンオフプログラム：県内教育・研究機関
- 3月 年次フォーラム











繋ぐ
広がる
学ぶ
創る



デザイン缶で赤土防止

5月、オリオンビール(早瀬京輔社長)はオリオンサザンスター「超スキリの青」の特別デザイン缶(350ミリ)の発売を発表した。県とオリオンビールによる赤土流出防止対策事業の一環で、SDGsの17の目標の一つ「海の豊かさを守ろう」に基づいた企画だ。同社がSDGsを掲げ、初めての商品展開となる。

売り上げの一部を活用し、農地から赤土が流れ出すことを防ぐグリーンベル

オリオンビール SDGsへ初の商品

ト(植栽帯)として使われるベチバーの苗や、ひまわりの種を寄贈する予定。市町村赤土対策地域協議会の重点監視海域など、10地域の農業コーディネーターに届けられる。

きっかけは、2020年9月に開催された第2回OSPカンファレンスで赤土流出問題をテーマにしたことだった。会議では、赤土流出防止対策費に充てる一括交付金が減額し、農家が自己負担で赤土流出の対策をしている現状などについて、県から報告された。

同社は県や農家の防止活動を県民に広く知ってもらい、活動資金を継続的に造成する仕組みを作ろうと、今回の商品化に至った。缶のデザインは「美ら海を守る」という思いを含め、青色の缶にクシラとひまわりをあしらった。県の「赤土流出防止プロジェクト」のホームページにつながるQRコードも載せている。

オリオンビールは今後も県民への対策活動の周知や、同社グループでのグリーンベルト植栽活動、支援金の創出などを予定する。



赤土流出防止のデザイン缶をPRした(左から)県の崎原盛光農林水産部長とオリオンビールの大藤盛男渉外室長。5月、那覇市の県庁

シングルマザーを支援

シングルマザーのための就業・協働プロジェクト「MOM For STAR（ママ フォー スター）」。「学ぶ」「働く」「つながる」の三つの活動を通して、未経験のシングルマザーがスキルを習得し、ウェブ業界で活躍できるまでをサポートする取り組みだ。IT企業「レキサス」（うるま市）と「フォアジット」（東京）、ひとり親やその子どもたちを支援する当事者団体のしん

MOM For STAR スキル習得で就労へ

ぐるまさあず・ふおーらむ沖繩の3者が連携する。

「子どもの貧困」をテーマにした2020年10月開催の第3回OSPカンファレンスでのつながりをきっかけに、同プロジェクトは21年4月から始まった。

レキサスがシングルマザーを雇用して業務支援し、フォアジットがウェブスキル研修や実践機会を提供する。加えて、しんぐるまさあず・ふおーらむ沖繩が、メンタルケア、生活のサポートなどをする。

プロジェクトを通して、シングルマザーがワーキングプアを脱却し、自分らしい働き方や生き方ができる社会の実現を目指す。

レキサスの山川伸夫さんは「プロジェクトは施しではなく先行投資だ。ビジネスとして利益が見込めるから、費用も時間も割いている。皆さん一人一人の可能性を信じている。将来的にはひとり親であることがハンディでなくなり、明るい希望を見つけ出せるプロジェクトにしたい」と展望を語った。



ウェブデザインの研修を受けるMOM For STARの参加者ら（提供）



6月 うむさんアカデミー vol.0 を開催

島ラブ祭 ソーシャルビジネスコンテスト

Powered by
Yunus Social Business

- 開催日時：2022年4月16日(土) 15:00～18:00
- 会場：琉球新報ホール
- 参加者：14チーム
- 来場者数：250名



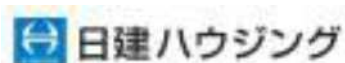
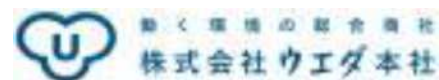


カリーファンド

Karry Impact & Innovation Fund

パートナー 28 (沖縄県内 17・沖縄以外 11)

(50音順、敬称略)



麻生 要一

浦崎 真作

大塚 泰造

大西 克典

加藤 慎一郎

高橋 伸彰

田中 邦裕

照沼 大

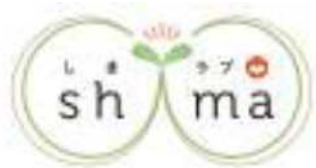
比屋根 隆

福地 一仁 他



うむさんラボがつくるソーシャルビジネスのエコシステム

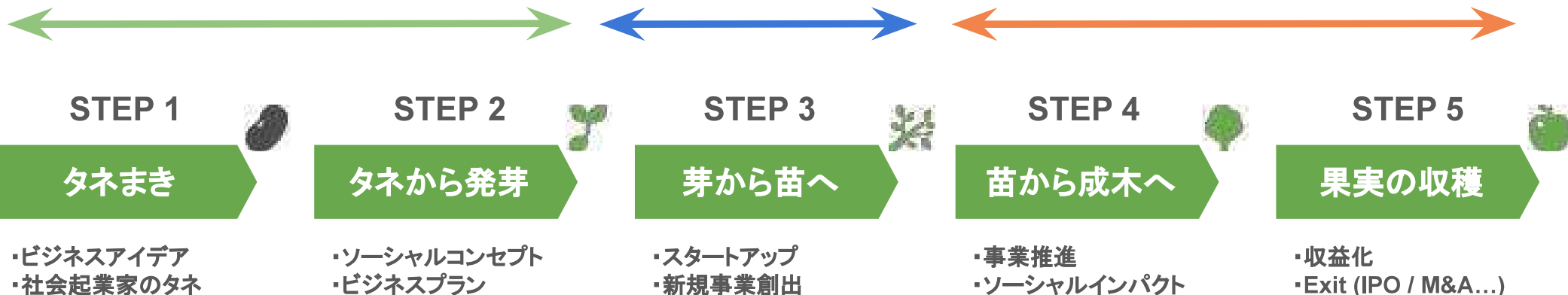
ソーシャルビジネスアカデミー
(2022～)



沖縄県スタートアップ支援事業
(2023～)



社会的インパクト投資
(2024～)



2030年までに 「沖縄県民ファンド」を立ち上げる

県民一人ひとりが毎月100円を寄付する。

それを基金(志金)にして

社会課題の解決や社会価値の向上・創造(=インパクト)の両立を目指す

社会起業家や事業にインパクト投資を行う。

経済的リターンは基金に戻り、次の社会起業家へ(循環)。

年1回の県民株主総会で、この1年間に創出されたインパクトを共有し、

チャレンジしている社会起業家を応援する文化を育む。

いつか、補助金だけに頼らず

県民ファンドで想いも資金も循環している

「株式会社沖縄県」が生まれている。

目指すのは「株式会社沖縄県」



UmuSun lab.

それは自律共創の精神で、県民一人一人がワクワクしながら育んでいく「新しい沖縄の在り方」。

沖縄のさまざまな社会課題をビジネスの力で解決しながら、「ありのままでいいよ」「ありがとう」「分かち合おうね」の言葉に溢れたあたたかい社会を想像しています。

企業の枠やセクターを超え、県民も巻き込み、世界に誇れる沖縄らしい「幸せの経済と社会」をデザインしよう。

ミチシルベ 2025

みんなで「株式会社沖縄県」を感じる カンファレンス & フェスティバル

「株式会社沖縄県」とは、“島ラブなひと”(沖縄を愛するひとりひとり)がアイデアを持ち寄り、それぞれが一員としてあたらしい社会を作り上げていく、これからの「沖縄の在り方」。沖縄が一体となって価値を創造することで、日本および世界のロールモデルとなることを目指します。

「ミチシルベ2025」では、「株式会社沖縄県」の実現に向けて、世代やセクターを超えて多様なひとたちが集まります。カンファレンスやワークショップ、マルシェ、エンターテイメントを通して、参加者ひとりひとりの勇気や希望となる「ミチシルベ」との出会いを創出します。